

# 地域活動支援センタースマイルハウス（代表 鬼沢 保平）

実施日	平成20年2月22日（金）	時間	午後1時30分～午後3時30分
実施場所	銚田市社会福祉協議会研修室	対象/人数	52名
担当者	沼田 妙佳	ファシリテーター	山形 正子
講師	王 金鳳（中国） 松山 美子（台湾） アンバー・チャン（オーストラリア・県国際交流員）		

## 活動内容

- ・音楽を通しての交流会
- ・交流会（パネルやグッズによる母国の紹介と歌や舞踊など披露）
- ・バンド演奏

## 参加者の感想

- ・私は、カメラを片手にこの会を写しながら参加しました。それぞれの国とその国民ごとに独自の文化、思想を持っているのです。それにより、対立などをなくすためにも積極的国際交流をしていき、お互いの理解を深めていくことが「世界平和」と「住みよい地球環境」に近づいていくのではないかと深く感じました。
- ・中国とオーストラリアと台湾の人がやってきて、とってもうれしかったです。うちにも中国の人が2人働いています。のぞみとスマイルハウスのみんなと一緒に歌いました。とても楽しかったです。
- ・本当にすてきな3人の女の人でした。それぞれの国について自信を持って話していました。外国に行ってみたい気になりました。

## 職員の感想

- ・コーディネーターの山形さんをはじめ、講師の方々には熱心に、そして丁寧にそれぞれの国の紹介をしていただき、参加者の心に残ったと思います。中国の王さんがみんなの輪の中に入れてみている人に、さりげなくそっと手を差し伸べて、輪の中に入れてくださっている様子に、人間としての暖かさを感じました。
- ・私たちは、音楽を通して様々な交流をして来ましたが、いつも音楽にバリアがないことを感じます。今回もお国柄を超えて交流することができ、民族性の違いはあっても、音楽に国境はないということを感じました。ありがとうございました。

## 音楽ボランティアの感想

- ・自分たちの準備を終え、講師の到着を待っていると民族舞踊の衣装をまとった中国の女性が会場に姿を現した。その容姿は語らずして異国を感じ

取るに十分なインパクトがありさすがにその任務を全うすべく研鑽を積んでいると感じ取れた。講師の方それぞれに言えることだが、自国を紹介するのに持時間が不足していたようで少し気の毒な感じもあった。歌や踊りやお国柄の説明など、丁寧にしているものを飽きさせない工夫もしていた。我々の演奏は彼女たちにどう響いたか。社交辞令抜きで本音を是非とも伺いたいところであった。国際交流と一口に言うが漠然としてイメージがわかenかったし、どんな展開でどう反応すべきか見当もつかずの参加だった事に少し後悔の念が見え隠れしている。

## 音楽ボランティアの感想成果と課題

- ・国際交流を通して、いろいろな人と交流が持てた。国によって食べ物の違いや音楽や舞踊などの文化、伝統、民族性の違いがわかった。
- ・講師の方は、障害を持った人たちの施設との交流は初めてだということでしたが、一生懸命に話をしていただき、熱意が伝わりました。
- ・講師の方々はもちろん施設としても初めての経験でしたので、戸惑いはあったが、今後の地域で展開していく国際交流への糸口となる良い活動となった。
- ・各国の紹介時間が足りずに、講師の方々はそれぞれご苦労されたようだった。タイムスケジュールや活動の流れをもう少し配慮する必要があった。

